

平成11年(1999年)3月15日発行



学位取得おめでとう

祝 辞

卒業おめでとう。今回の学部卒業生は私が本学に赴任した平成七年四月の入学、いわば同期の核です。当時を省みて、少年の胆の残っていた諸君が立派な岸になつて卒業されることを何よりも嬉しく思います。

平成七年は情報工学科がスタートした年でもありました。この四年間、他学から注目されている斬新なカリキュラムの実施には苦勞が多かつたと思いますが、同学科の職員と学生が努力して立派な成果を挙げられ、これらの業績に対して平成十年度の私立大学情報教育協会賞及び奨励賞が授けられました。大学としても誠に名誉なこと心から喜んでいます。

慶事が重なり、この四月からは大学院情報工学専攻修士課程が新設され、五学科・五専攻が揃いました。社会人の大学院入

学制度も充足しましたので、学部新卒者は勿論、様々な経歴の方が学ばれることを期待しています。

さて、諸君の学生生活は長く続く経歴の最中で苦勞が多かつたと思います。しかし、その中にもあつても、一昨年、昨年と本学園創立九十周年記念行事が盛大に行われ、学生の作詞

仕事や趣味に
精進する先輩に学べ

作曲した学生歌の発表会もあつて、大学関係者や地元の方々も一緒に祝ひできたのは幸いでした。

また、勉学に対する諸君の取り組みハハル経済時代と比べ、真剣でした。不景気の年の新入社員から将来その企業を背負う人材が出るといわれています。これから頑張ってください。

なライセンスを増やしているところですが、意志が強くなければ実行できないことで感服しています。

諸君が先輩を見習つて色々な分野で生涯学習を続けて欲しい。家族と一緒に楽しむ趣味を育て、出満ち家庭を築くことは人生の基本です。仕事の面では、技術の進歩に後れず、新しい事柄を

なりました。この数年だけを見ても、巨大な教育研究はともに充実してきています。米国のイノイ大学に調印され、文部省のハイテクの補助を受けて建設中の先端材料技術研究センターが四月にオープンします。

なりました。この数年だけを見ても、巨大な教育研究はともに充実してきています。米国のイノイ大学に調印され、文部省のハイテクの補助を受けて建設中の先端材料技術研究センターが四月にオープンします。

地味な大学ではありますが、前身の東京工科大学の創立から数えて五十二年、技能と技術の融合を目指す工大と諸君とは切っても切れない太い絆で結ばれているのです。大学の評価は教育と研究だけではありません。活躍している卒業生が多いことが重要な評価項目です。

諸君が卒業後も母校と密接な連絡を保ち、健康に留意されて、幅広い技術者として活躍されることを願つてお祝ひの言葉とします。

吸収し、自分の頭で考え、自ら行動することを心掛けていたください。

日本は資源小国です。資源とエネルギーの全部、食料のかなりの部分の輸入が不可欠で、諸外国で真似できない新製品を開発、製造して輸出しなければ生き残れません。ものづくりの基盤技術が今後ますます重要になっていくでしょう。

大学院に進学される諸君には、技術の高度化が強まっている昨今の状況下、高度専門職業人や研究者への期待は、たいへん高まっております。昨年十月の大学審議会答申でも、その点が強調されておりますが、どうか諸君は、いま申し上げた学術交流環境や研究施設などを駆使して、レベルの高い知識や技術をもつて下さい。

今後と弛まざる
学習姿勢の堅持を

理事長 大川 陽孝

リンキングの世界に即して申し上げれば、環境意識の強い高まりのなか、技術者・設計者への要請が従来の「効率追求」一辺倒から「資源の生産性」に向けられていくという一つを例にとっても、変化の流れは明らかです。したがって、これから社会に出る諸君が強く心すべきは、これまで学んできた知識や技術を

たことと思いますが、いま企業社会が求めている人材は、個人個人の独創性、もしくは、従前の価値観にとらわれない「新しいコンセプト」を構築できる人間です。

理由は申し上げるまでもありませんが、一昔まえまでは、ただ誰かが築き上げた技術や価値に追いつくという、いわゆるキ

プが必要不可欠なのです。しかしながら、独自の技術や考えを打ち出すのは、その簡単にできるものではありません。職場での日々の努力、あるいは自分の時間を使って学習を積み重ねなければ、いきなり大方向こうをうたして、上司や同僚たちが認めざるを得ない研究成果や業績は、心より祈念申し上げます。

思うに、二十一世紀は、たいへん厳しい競争社会になることは、ほぼ間違いないでしょう。諸君の多く幸と健康を、衷心より祈念申し上げます。

贈る言葉

卒業生諸君、学位取得まことにおめでとうございませう。

私は、まず諸君の多くが、この人へ況のなか、厳しい就職活動に邁進され、新たな出発をされることに、深い敬意を表します。

諸君も新聞やテレビなどを通じて、重々ご承知のことと思いますが、いま企業のリストラや再編成の報せが連日のように舞い込んでおります。無論その背景には、戦後この方みられなかった「経済不況」が存在するわけですが、より深い見地から申し上げます、戦後二十一年という新しい時代を迎えるに際し、これまで世を動かしてきた社会システムや価値観が、もう通用しなくなつたという大きな「時代変革期」に遭遇している点に留意しなくてはなりません。

それは、われわれエンジニア

贈る言葉

卒業生諸君、学位取得まことにおめでとうございませう。

私は、まず諸君の多くが、この人へ況のなか、厳しい就職活動に邁進され、新たな出発をされることに、深い敬意を表します。

諸君も新聞やテレビなどを通じて、重々ご承知のことと思いますが、いま企業のリストラや再編成の報せが連日のように舞い込んでおります。無論その背景には、戦後この方みられなかった「経済不況」が存在するわけですが、より深い見地から申し上げます、戦後二十一年という新しい時代を迎えるに際し、これまで世を動かしてきた社会システムや価値観が、もう通用しなくなつたという大きな「時代変革期」に遭遇している点に留意しなくてはなりません。

それは、われわれエンジニア

贈る言葉

卒業生諸君、学位取得まことにおめでとうございませう。

私は、まず諸君の多くが、この人へ況のなか、厳しい就職活動に邁進され、新たな出発をされることに、深い敬意を表します。

諸君も新聞やテレビなどを通じて、重々ご承知のことと思いますが、いま企業のリストラや再編成の報せが連日のように舞い込んでおります。無論その背景には、戦後この方みられなかった「経済不況」が存在するわけですが、より深い見地から申し上げます、戦後二十一年という新しい時代を迎えるに際し、これまで世を動かしてきた社会システムや価値観が、もう通用しなくなつたという大きな「時代変革期」に遭遇している点に留意しなくてはなりません。

それは、われわれエンジニア

贈る言葉

卒業生諸君、学位取得まことにおめでとうございませう。

私は、まず諸君の多くが、この人へ況のなか、厳しい就職活動に邁進され、新たな出発をされることに、深い敬意を表します。

諸君も新聞やテレビなどを通じて、重々ご承知のことと思いますが、いま企業のリストラや再編成の報せが連日のように舞い込んでおります。無論その背景には、戦後この方みられなかった「経済不況」が存在するわけですが、より深い見地から申し上げます、戦後二十一年という新しい時代を迎えるに際し、これまで世を動かしてきた社会システムや価値観が、もう通用しなくなつたという大きな「時代変革期」に遭遇している点に留意しなくてはなりません。

それは、われわれエンジニア

贈る言葉

卒業生諸君、学位取得まことにおめでとうございませう。

私は、まず諸君の多くが、この人へ況のなか、厳しい就職活動に邁進され、新たな出発をされることに、深い敬意を表します。

諸君も新聞やテレビなどを通じて、重々ご承知のことと思いますが、いま企業のリストラや再編成の報せが連日のように舞い込んでおります。無論その背景には、戦後この方みられなかった「経済不況」が存在するわけですが、より深い見地から申し上げます、戦後二十一年という新しい時代を迎えるに際し、これまで世を動かしてきた社会システムや価値観が、もう通用しなくなつたという大きな「時代変革期」に遭遇している点に留意しなくてはなりません。

それは、われわれエンジニア

機械工学科

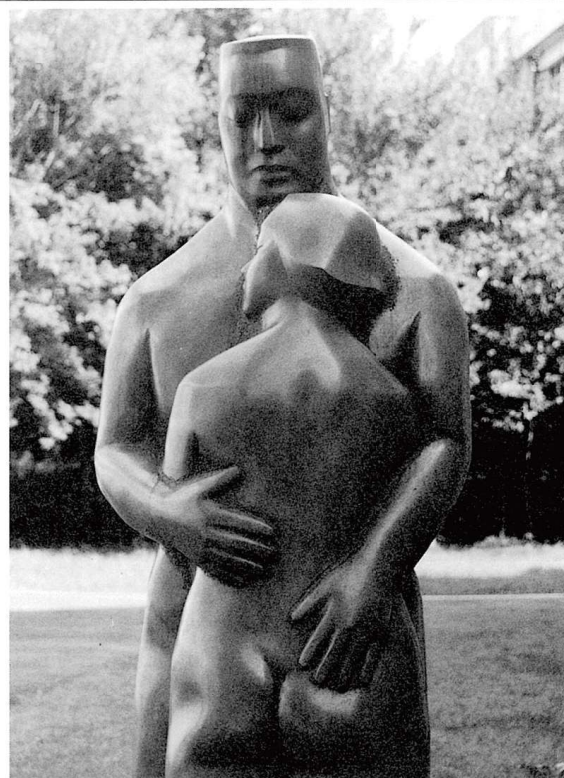
平成
十年
度
卒業生一覽
三月二十日付
確定者

電気電子工学科

建築学科

システム工学科

情報工学科



大学院工学研究科修了生

■博士後期課程

〔建築学専攻〕

■博士前期課程

〔機械工学専攻〕

〔建築学専攻 2年次〕

〔システム工学専攻〕

〔電気工学専攻〕

◎学位記授与式
三月二十日(土)

い社会状況と、それに伴う超氷河期といわれた就職難の中で、本年度も多数の学生が、我が日本工業大学